

6. 事前対策リスト

災害時の応急対応を効果的に行えるよう、①事前対策リスト（自助）と、②事前対策リスト（共助）を考えましょう。

②事前対策リスト（共助）は、第3回ワークショップの議論をもとに、災害対応の「特に優先度の高い活動」とそのための「事前対策」をテーマ毎に検討し、まとめました。

(1) 事前対策リスト（自助）の考え方

▶ p27 参照

自助を普及・啓発するために、災害に備えて日頃から家庭で準備しておきたい事柄をチェックリストにしました。いつも使っているものを災害時にも使えるように、分かりやすい場所に置いておくことが大切です。

(2) 事前対策リスト（共助）の考え方

▶ p28 参照

1) 「特に優先度の高い活動」の考え方

実際の災害では、限られた資源を特に優先度の高い活動に集中投下する判断が求められます。被害状況の把握とそれにもとづくその後の対応について、その優先度合いを考えます。

2) 事前対策（必要資源）の考え方

優先度が高い活動を円滑に進められるように必要な備えを行います。活動テーマごとの事前対策リストを、以下の「人、モノ、情報、空間」の視点で考え、作成しました。

「人」は、人材や組織を育て、地区内外の関係団体と連携すること、住民同士が交流し顔見知りの関係になること等が大切です。

「モノ」は、救出・救護・搬送、消火等の対応に用いる資器材の配備、調達方法等を検討しておくことが大切です。

「情報」は、必要になる情報を整理し、情報収集・伝達の体制をつくり、情報連絡手段を準備し、訓練で動けることが大切です。

「空間」は、災害対応に必要な空間、安全な避難に必要な空間、災害に強い空間の整備、利用方法の検討等が大切です。

(3) 事前対策リスト(自助)

家の中の安全	<input type="checkbox"/> 家具が転倒しないように固定する	
	<input type="checkbox"/> 耐震診断・耐震補強をする	
	<input type="checkbox"/> 寝室には家具を置かないか、寝床に向かって転倒しないようにする	
	<input type="checkbox"/> 玄関などの出入り口までは物を置かずに避難できるようにする	
	<input type="checkbox"/> ベランダの避難用の隔壁、避難ハッチ周りに物を置かない	
	<input type="checkbox"/> 家具の扉が揺れで開かないようにする（耐震ラッチなど）	
	<input type="checkbox"/> 家具のガラス扉などは飛散防止フィルムを貼る	
	<input type="checkbox"/> 寝室に靴やスリッパ、軍手（ガラスが飛散した場合に必要）	
	<input type="checkbox"/> ほうき、ちり取り（掃除機は停電時使えない）	
	<input type="checkbox"/> 消火器の設置場所と使い方の熟知	
避難・救護	<input type="checkbox"/> 安否確認用ステッカー	
	<input type="checkbox"/> ホイッスル（閉じ込め時に音を発するため）	
	<input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤルなど家族の連絡方法の確認	
	<input type="checkbox"/> 応急医薬品（絆創膏、消毒薬、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、目薬、持病のある人は常備薬など）	
水や食料	<input type="checkbox"/> 飲料水；1人1日3リットルを最低3日分、7日分を推奨	
	<input type="checkbox"/> 水用携行タンク（飲料水の配給時に必要）	
	<input type="checkbox"/> 食料（レトルト、缶詰、インスタント食品、栄養補助食品、チョコレート等の菓子、最低3日分、7日分を推奨）	
	<input type="checkbox"/> 生活用水（飲料しない水）；風呂の汲置き、やかんやポットに水を入れておく	
	<input type="checkbox"/> 粉ミルク、離乳食（乳幼児がいる場合）、アレルギー対応食品	
	<input type="checkbox"/> ガスカセットコンロ、予備のガスボンベ	
	<input type="checkbox"/> ラップ（食器にかぶせて使えば洗わなくてよい）	
	<input type="checkbox"/> 紙皿、紙コップ、割り箸	
避難生活用品	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ（便袋）	
	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー（余分に備蓄）	
	<input type="checkbox"/> ティッシュ（余分に備蓄）	
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯, ランタン, マッチ, ライター	
	<input type="checkbox"/> ラジオ	
	<input type="checkbox"/> 電池（余分に備蓄）	
	<input type="checkbox"/> 毛布	
	<input type="checkbox"/> 虫よけ用品	
	<input type="checkbox"/> ビニールシート（敷物、雨よけ）	
	<input type="checkbox"/> 貴重品リスト	
	<input type="checkbox"/> 情報収集先リスト（自治体 HP 等）	
	<input type="checkbox"/> ガムテープ	
	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー	
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	
<input type="checkbox"/> マスク		
<input type="checkbox"/> 衣類		
<input type="checkbox"/> 生理用品		
<input type="checkbox"/> 紙おむつ		
<input type="checkbox"/> 雨具		
<input type="checkbox"/> 新聞紙（防寒、燃料）		
<input type="checkbox"/> リュック（物資の持ち運び用）		
<input type="checkbox"/> 防災マップ		
便利なもの	<input type="checkbox"/> ソーラーまたは手動充電器（携帯、電池用）	
	<input type="checkbox"/> 家庭用発電機	
	<input type="checkbox"/> 蓄電池	
<input type="checkbox"/> 防災カード（住所、氏名、連絡先、既往症、通院先、薬アレルギー等）		
<input type="checkbox"/> ヘルメット・工具類		
<input type="checkbox"/> 公衆電話用 10 円硬貨		

(4) 事前対策リスト(共助)

1) 建物倒壊への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①身の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認（自宅、家族） 近隣の被害状況（家屋・人）の確認 	<ul style="list-style-type: none"> □建物、室内の安全確保 □シェイクアウト訓練（まず姿勢を低く、頭を守り、動かない動作を一斉に行う訓練） □発災後すぐにドアを開けるよう周知（ドアのゆがみ対策）
	<ul style="list-style-type: none"> ブレーカーを落とす 	<ul style="list-style-type: none"> □「電気火災」の啓発（外出時のブレーカー対策、コンセントのホコリの点検、電気製品周りの整理等）
②被害調査	<ul style="list-style-type: none"> 近隣建物の状況確認（被害状況を目視で判断する） 	<ul style="list-style-type: none"> □まちの点検、「危険・資源マップ」の作成・活用
	<ul style="list-style-type: none"> 生き埋め者を探す（建物倒壊、マンションでの家具転倒） 	<ul style="list-style-type: none"> □家具の固定、ガラスの飛散防止 □空き家の確認 □有事のための、玄関ドアの鍵の預かり（信頼関係を築く）
③資器材、人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 救出用資器材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> □救出資器材の確保（ジャッキ、チェンソー、パール、ハンマー、エンジンカッター） □救出資器材の使い方の訓練
	<ul style="list-style-type: none"> 人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> □中学生の育成、動員（近隣の声掛け等） □事業所との連携・帰宅困難者への協力依頼（日中不在時の対策） □専門職（医者・看護師・建築現場職等）への協力依頼（協定を結んでおく） □日頃の人間関係を築く
④避難誘導	<ul style="list-style-type: none"> 避難路の安全確認 	<ul style="list-style-type: none"> □避難場所、避難路等の避難方法の周知（ブロック塀倒壊、瓦の落下、電柱倒壊等による閉塞確認） □まちの点検、「危険・資源マップ」の作成・活用

2) 建物火災への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①初期消火	<ul style="list-style-type: none"> 消火資器材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> □消火資器材の整備、訓練 □既存消火器が機能しない場合に備えて「投げる消火器」の整備を進める
	<ul style="list-style-type: none"> 通電火災の発生防止 	<ul style="list-style-type: none"> □耐震ブレーカーの普及
	<ul style="list-style-type: none"> 火災延焼の防止 	<ul style="list-style-type: none"> □住宅の耐火性強化 □建物不燃化促進の気運醸成 □区営住宅の安全性向上 □自主防災組織の育成 □消防機関・他の防災組織との連携 □防災訓練・防火教育の実施

②情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> 無線等による情報収集・発信 	<input type="checkbox"/> 町会・班単位での情報連絡体制の構築 <input type="checkbox"/> 情報収集・発信の訓練実施
③避難誘導	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火に失敗した場合の避難 西が丘への避難 安全な場所の確保 大人・子どもの避難を分けて実施 組織的な避難行動 	<input type="checkbox"/> 安全な避難ルートの確保 <input type="checkbox"/> 図上・実働による避難訓練の実施 <input type="checkbox"/> 避難先の候補地選定 <input type="checkbox"/> 災害時要援護者対策 <input type="checkbox"/> 顔の見える関係づくり

3) 要援護者への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①要援護者の情報収集と安否確認	<ul style="list-style-type: none"> 近隣で安否確認 班毎に要援護者の安否確認 	<input type="checkbox"/> 近所付き合いの促進 <input type="checkbox"/> 要援護者名簿（区からの名簿・老人クラブ）の作成 <input type="checkbox"/> 班毎に要援護者を把握しておく <input type="checkbox"/> 安否確認訓練の実施 <input type="checkbox"/> 要援護者の個別支援策の検討
②救出・救護	<ul style="list-style-type: none"> 避難や搬送が必要か判断 誘導先の確認 リヤカー・車イスの調達 	<input type="checkbox"/> 福祉事業所に協力要請 <input type="checkbox"/> 人材の確保（事前に声掛け） <input type="checkbox"/> 老人クラブ同士で助け合い <input type="checkbox"/> 各家庭にあるモノを活用（毛布・布団、おんぶひもの用意） <input type="checkbox"/> 搬送訓練の実施 <input type="checkbox"/> 誘導経路の確認（防災マップの活用）
③避難生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 避難所開設 	<input type="checkbox"/> 避難所運営マニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 要援護者に配慮した避難所のレイアウトの検討 <input type="checkbox"/> 在宅避難者への支援方法の検討

4) 道路閉塞への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	<ul style="list-style-type: none"> 町会ブロック別に参集 	<input type="checkbox"/> 一時集合場所の確定（なかよし公園・中丸児童遊園）
②被害調査分析	<ul style="list-style-type: none"> 町会独自で被害調査 	<input type="checkbox"/> 被害調査マニュアルの作成
③対応方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> 担当者（地域）、班長の決定 対応の優先順位の決定 	<input type="checkbox"/> 指示命令・代表者の決定（例：町会長等） <input type="checkbox"/> 役割分担 <input type="checkbox"/> 人員確保の検討
④資器材調達	<ul style="list-style-type: none"> 資器材調達 	<input type="checkbox"/> 防災倉庫の物資の整理 <input type="checkbox"/> 資器材の使用法の把握
⑤道路啓開	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車の撤去 	<input type="checkbox"/> 撤去場所の確保
	<ul style="list-style-type: none"> 道路の瓦礫の除去 	<input type="checkbox"/> がれき除去手順の確認
	<ul style="list-style-type: none"> 通行路の確保 	<input type="checkbox"/> 避難ルートの確定 <input type="checkbox"/> 防災マップの活用
	<ul style="list-style-type: none"> 交通誘導 	<input type="checkbox"/> 誘導方針の確認 <input type="checkbox"/> 安全であれば自宅に留まる

おわりに

(1) 地区防災対策に関わる「論点」

ワークショップの議論では、地区防災対策に関して参加者の意見が分かれたり、よい解決策が見つからない場合もありました。

そうした論点や悩みをテーマ毎に整理したのが下表です。今後とも、地域での話し合いのテーマとして、地域に合ったよい解決策を考えましょう。

テーマ	地区防災対策に関わる論点
①建物倒壊	<ul style="list-style-type: none">・建物被害の把握方法（建物被害、家具の転倒、生き埋め等）。・救出・救護に携わる従事者の安全確保（体制、装備、情報提供等）。・救出・救護のための資器材の確保（調達先情報、事業所との協定等）。・避難者が一部の避難所に集中しないための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。
②建物火災	<ul style="list-style-type: none">・火災被害の把握方法（出火点、延焼方向等）。・同時多発火災の場合の延焼阻止・避難の方法。・避難路・避難場所の安全性の確認方法（火災延焼による避難支障等）。・避難方法の代替案の確保（災害時の迅速な判断と避難者の誘導等）。・道路（歩道）の大渋滞を避けるための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。
③要援護者	<ul style="list-style-type: none">・安否情報の収集・整理・役割分担の方法（優先順位、行動手順等）。・要援護者支援の担い手確保の方策（民生・児童委員、福祉事業所との連携等）。・平常時における要援護者名簿の活用方法、「個別支援プラン」の作成方法。
④道路閉塞	<ul style="list-style-type: none">・道路被害の把握方法（道路の陥没・隆起、液状化等）。・道路啓開活動の方法（土木会社との連携等）。・交通誘導の方法（警察との連携、ドライバーへの情報提供等）。

(2) 本マニュアルの活用方法

本マニュアルの活用方法として下記のことが考えられますので、地域の皆さままで進めていきましょう。

- ① 防災の勉強会、地域住民への防災教育・啓発
- ② まち歩きと防災マップづくり
- ③ 「被災・対応シナリオ」に沿った防災訓練の企画と実施
- ④ 「被災・対応シナリオ」に沿った組織体制の見直し
- ⑤ 様々な事業所や関係機関との連携
- ⑥ その他、「事前対策リスト」の対応、整備

今後は、この「熊野地区防災対策マニュアル」をもとに、各町会・自治会等の地区特性に応じた「わがまちの防災対策マニュアル」を作成することで、より一層きめ細やかな、実効性のあるマニュアルが完成します。